

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	給食センター管理事業					事務事業コード	01801
部 名	学校教育部	課 名	学校給食課	係 名	管理係	部課コード	110400

1. 事業概要

総合計画コード	3116	3132			
事業年度	年度 ~ H	年度	事業類型	◎ソフト事業	○ハード事業
法令等の義務付け	<input checked="" type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 学校給食法・朝霞市学校給食センター設置及び管理条例・朝霞市学校給食センター設置及び管理条例施行規則		
めざす目的成果	センター方式の学校の児童・生徒が、健全な心と身体の発育のために、安心・安全な学校給食を安定して食べることができている。				
事業内容	給食センターの備品購入や設備の保守・点検、及び老朽化した施設・設備の改修や修繕等の維持管理を行う。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 市内に3箇所ある給食センターの施設改修・修繕・施設の各種保守管理委託及び備品購入等の維持管理業務を行う。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		給食センター3箇所の維持管理を行った。 ・需用費(燃料費・光熱水費・備品修繕料・施設等修繕料) ・役務費(電話料等) ・委託料(警備業務委託、エレベーター保守委託、電気保安管理委託、清掃業務委託、施設設備管理委託等) ・使用料及び賃借料(給食配送車借上、洗浄機借上等)・備品購入(庁用器具等)				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		301,443	121,878	132,648	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源		301,443	121,878	132,648	
	b 人件費		35,174	31,510	40,304	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		336,617	153,388	172,952	
投入労働量	常勤職員等(人工)		4.80 人	4.30 人	5.50 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		148 時間	1,633 時間	0 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	需用費88,080千円 役務費864千円 委託料17,966千円 使用料及び賃借料25,503千円 備品購入費 235千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 稼働日数	日	187 ( 187 )	187 ( — )	187 ( — )	H 32 年度
	② 施設改修工事箇所等	箇所	0 ( 0 )	0 ( — )	1 ( — )	H 32 年度
成 果	① 食中毒発生件数	件	0 ( 0 )	0 ( — )	0 ( — )	H 32 年度
	② 学校からの苦情件数	件	0 ( 20 )	0 ( — )	0 ( — )	H 32 年度

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input checked="" type="radio"/> C 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 近年の急激な社会環境の変化は、子どもたちの生活環境や食事環境にも重大な影響を及ぼしており、学校給食は、児童生徒の健全な心と身体の発育及び健康教育の一環として極めて重要である。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 活動指標については、給食実施予定日の給食提供を、計画どおり実施できた。 成果指標については、食器の破損等、学校からの苦情が各センターであったが、即時に学校への説明を行うとともに状況を把握し、食器洗浄、食材下処理時の際の確認の徹底や新品との交換、また業者への注意を促す等により問題解決をはかり、概ね目標を達成したと考える。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	思いやり: 給食センターの業務において事故等なく、児童・生徒の健全な心身の発育のために安心・安全な給食の提供を行った。 参加と協働: センターの見学会等を通じて学校給食への理解を深めた。 経営的な視点: 委託化等の実施により効率的な運用を図った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 安心・安全な給食を提供するため、調理、食器洗浄等の作業時において個々の確認の徹底を図ることで、事故等の問題の発生を防止する。厨房施設の修理、維持管理については施設の老朽化に伴い修繕件数が増加傾向にあり、修繕の内容を精査し限られた予算を有効に支出する。また、業務委託、物品の賃貸借等については長期継続契約への変更等、契約方法を検討し、事務の効率化、経費の節減に努める。			

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 29 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期: H 29 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期: H 29 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期: H 29 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 29 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 29 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 29 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	各センターとも築年数が経過しており、平成29～30年度に浜崎学校給食センターの施設改修事業を実施するが、他の2センターについては今後も修繕料等の増加が見込まれることから、引き続き効率的な運営の検討等を行うことにより経費の節減に努めていきたいと考えている。			